

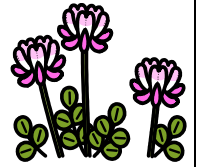


学校だより

令和4年5月9日 NO.7

尼崎市立金楽寺小学校

校長 中根 孝介



ファミリー活動始まる！ —「ファミリー活動」ってなに？—

金楽寺小学校の特色の一つにファミリー活動があります。ファミリー活動では、学年や学級の枠をこえて、縦割りで様々な活動に取り組みます。各学年2名ほどで構成される各グループ12名程度のミニファミリーとミニファミリーが3グループ集まった教室ファミリーがあります。教室ファミリーは、おむね月1回の活動を計画しており、高学年の子どもたちが中心になって企画・運営を行います。

第1回目の5月6日（金）は、各教室に3つのミニファミリーが集まり、「ファミリー結成式」を行いました。ミニファミリーで自己紹介・ファミリー写真の撮影を行い、ファミリー名を決めたり、ゲームをしたりしました。カルタやカードゲーム、リーダー探しなど、楽しいひと時を過ごしました。

ファミリーのポスター作りや集会活動、ファミリーダンスや長なわ、正月遊びなど、異年齢の集団で工夫した楽しい活動を進めていきます。

人と人の「つながり」が希薄になりつつあるといわれる現代社会で、年齢をこえた集団で過ごすことは、とても有意義なものです。高学年の子どもたちは、責任をもってファミリー活動の企画・運営を進めることで、リーダーシップや企画力、責任感が育ちます。低学年の子どもたちは、高学年のお兄さん、お姉さんの話をしっかりと聞いて活動することでフォロワーシップを高めていきます。子どもたちひとりひとりに、互いを認め合い尊重し合う態度を養い、金楽寺小学校のめざす子ども像のひとつでもある「思いやる」心を育てます。また、それぞれの立場で活動や行事を成し遂げることで「やりぬく」力や充実した楽しさを育みます。



ファミリー活動ってなに～？

今日のファミリー活動って、どんなことしたの？

金楽寺小学校のおやつ??

【金楽寺小学校の学校教育目標】
こころ豊かで たくましく 自ら考え続ける子
【めざす子ども像】
「つながる」「やりぬく」「思いやる」



「こころ豊かで たくましく 自ら学び続ける子」は、知徳体の3つをバランスよく育み、将来にわたって生きて働く力の育成をめざし、生涯、成長し続けていくことを願ったものです。

「㊦ながる」「㊧りぬく」「もいやる」の初めの文字 ㊦, ㊧, ㊨の3文字をとって、反対から読むと、㊨㊧㊦。子どもたちには、「金楽寺小学校の『㊨㊧㊦』をめあてにがんばりましょう」とよく話をしています。